野良猫の世話をされている方へ

飼い主から捨てられたり，不妊去勢手術をせずに無秩序に生まれた子猫など，不適切な飼育が原因で屋外にいる猫やその子孫が，今福岡市内で生息している野良猫です。この猫たちを「かわいそう」と思って世話をされていることと思います。

しかし，**えさやりのみ**を行うのは不幸な猫を増やすことにつながり，「**近隣トラブル**」や「**苦情**」に発展します。

野良猫たちを<u>ワルモノ</u>にしない為にできることがあります。

① エサを置いたままに（置きエサ）しない



置きエサにハエ・ゴキブリ等やハト・カラスなどが集まる。
また，世話をしている野良猫以外にも猫が集まることで
トラブル・苦情の原因になるため**置きエサは厳禁**です。

② 糞の片づけをする



野良猫は様々な場所で排泄します。
他人の敷地内での排泄はトラブル・苦情の原因です。猫のトイレを置いて，
世話している猫が**糞をしたら必ず片づけましょう**（<u>糞は可燃ごみ</u>として捨てて下さい）。

③ 不妊去勢手術をおこなう



猫は年に2～3回出産し，1回で平均5頭の子猫を産みます。
1頭だった猫が1年後には20頭になることもあるのです。
不幸な次世代を作る原因になるので**必ず，不妊去勢手術をしましょう。**

④ 新しい飼い主を探す



人に馴れている猫であれば，新しい飼い主になってくれる人を探してみましょう。一般的に，野良猫として屋外で生活する猫は，家の中で飼育される猫に比べ寿命が短くなると言われています。

⑤ お住まいの町内会等で野良猫問題を考える



お住まいの町内には，あなたが世話している**野良猫に困っている方もいます。**
人間関係のこじれにより野良猫に対する見方が厳しいものとなります。
上のような対策をしっかり取り，まわりの方に周知（お知らせ）しましょう。
野良猫に困っている方に，活動を理解していただくことも大切です。

福岡市動物愛護管理センター